

世界の恵まれない子供達に学ぶ機会を！ 学ぶ喜びを！

SCOLA

Vol 12

認定 NPO 法人 LS スコラ育英基金

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-25-15

Tel & Fax : 03-3428-8307

E-mail : scola_japan@yahoo.co.jp HP : <http://scola.web.fc2.com/index.html/>

郵便振替番号 : 00100-0-767496 特定非営利活動法人 LS スコラ育英基金

〈希望の隅石^{すみいし}〉

新しい年、2023年を迎えました。この一年間ご寄付その他有形無形のご支援をいただきました皆様方に対し、厚く御礼申し上げます。

去年は、国の内外ともに、驚愕すべき出来事が続いた年でした。欧州では2月にロシアがウクライナに侵攻し、未だ終結する気配が見られません。国内では元首相が狙撃された事件を契機として、宗教と政治との関係が多く注目を集めました。ロシアのウクライナ侵攻の背景にも、宗派間の対立が指摘されており、私たちの拠り所となるはずの宗教とは……あらためて考えさせられた一年でもありました。

加えて、円安に物価の高騰で、5月に実施したウクライナから避難した子どもたちに対する支援に、6月及び9月に実施したミャンマーの軍事政権による国内避難民に対する生活並びに教育関係支援に大きく影響しました。さらに、人の移動や経済活動が制約なしの状態に戻るまでの新型コロナウイルス感染は、増減を繰り返しており、これらのことはすべて、「新しい日常」なるものが始まっている、という見方が定着しつつあります。

さて、LSスコラ育英基金のこの一年を振り返って見ますと、4月に開催された通常総会こそ、一堂に会して開催しましたが、そのほかの毎月の例会及び理事会は全てリモートで行われました。上記の支援のほか、3月には仙台の児童養護施設からあらたに大学及び専門学校に進学した学生3人に入学一時金を給付しました。5月と10月には、4人となった学生にそれぞれ奨学金を給付しましたが、大学3年生となった学生からは、支えてくださった皆様に対する



ラ・サール国際連帯基金が作成した
支援先の笑顔の子供達の写真集の表紙

御礼とともに、奨学金を就職活動の資金としても活用したいとの手紙をいただきました。

聖書に「見えるものに対する希望は希望ではありません。現に見ているものをだれがなお望むでしょうか。わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです」とあります。「新しい日常」なるものが始まっているとしても、今は見えなくても、出口を指し示す光として、忍耐して待ち望む方々に対して、私たち LS スコラ育英基金が希望の隅石となる、そんな一年になればと願っております。

当法人を支援してくださっている方々の高齢化が進み、年々資金集めには工夫が必要となっておりますが、私たちの活動を覚えて、寄付して下さる仲間が150人以上おられる、既にご寄付いただいている皆様方からお声がけいただき、恩師から、あるいは同窓生以外からも新たに寄付して下さる方々の輪が少しずつ広がっている、何と嬉しいことでしょうか。引き続き、皆様方のご支援を是非ともよろしくお願い申し上げます。 (理事長 宇野哲人)

1. 国内の支援活動

(1) 仙台ラ・サール・ホーム進学者に対する入学一時金や奨学金を支給しました。

- ・ 昨年春、大学等に進学した者に対する入学一時金 30万円×3名分 計 90万円
- ・ 在学中の4名に対する奨学金 (1万円/月)
上期分：6万円×4名分=24万円 下期分：6万円×4名分=24万円 計 48万円

(2) 4人の進学者からの「お便り」(抜粋)を紹介します。

【4年制大学 3年生・男子】

私はいま就職に向けて着々と準備を進めている最中です。夏にはインターンシップにもいくつか出向き、とてもいい経験になりました。
今回寄付して頂いた資金は、後期の教科書の購入や、就職活動の費用に使わせていただこうと考えています。

【4年制大学 1年生・男子】

いただいたご支援は、大学や資格等の教材にあてさせて頂いています。

【3年制看護専門学校 1年生・女子】

自分が思い描く看護師になるため講義や演習、実習を日々精一杯励んでおります。また、1人ぐらしを四月から開始し家事と学業を両立する大変さも知りました。

【2年制デジタル関係専門学校 1年生・女子】

今は、将来の夢に向かってイベントのボランティアや、MCのお仕事などを中心に活動。卒業後も立派な社会人となり自立できるよう努力致します。

2. 海外の支援活動

(1) ロシア侵攻によるウクライナ避難民に対する緊急支援(SECOLI #4447)のその後の状況

・5月に1万ドルを支援【1,318,800円 送金手数料等含む】

*Update Ukrainian Students in Austria (2022年11月24日入手の報告)より抜粋

「一般に、学生がどれくらい滞在するかについての情報はありません。家族自身の状況が非常に不透明であるため、すぐに家に帰ることを計画しているという学生はいません。教育局は、子供たちがより長い期間滞在することを前提としています。彼らのほとんど、特に若い学生はウィーンの学校にうまく溶け込んでおり、語学学習の過程で進歩を遂げています。」

*School: Fünfhaus, School: Marianum, School: Strebersdorf, School: Währing

4つの学校に、幼稚園・小学校・中学校・高校の生徒計約60名が在籍しています。

(2) 軍事政権によるミャンマー国内の避難民に対する緊急支援(SECOLI #4449)の中間報告

・6月に5千ドル支援【660,800円 送金手数料等含む】

・9月に5千ドル支援【711,100円 送金手数料等含む】

*PROJECT INTERIM REPORT (December 1, 2022)より抜粋

「ミャンマーのラ・サール会ブラザーは、政権による家屋の放火、空爆、無差別砲撃によって避難を余儀なくされ、苦しんでいる人々のために10,000米ドルの助成金を与えられたことに非常に感謝しています。ラ・サール国際連帯基金を通じて寄付して下さった日本の寛大な皆様に感謝いたします。」

(理事・事務局長 黒木秀敏)



< 使途明細 >

Disbursement				
No	Particulars	Chin State	Kayah State	Total (Chin)
Materials (Food/Medicine/Education Materials)				
1	Rice, Oil, Salt	2,000,000.00	2,000,000.00	4,000,000.00
2	Tarpaulin and Medicines	1,000,000.00	1,000,000.00	2,000,000.00
3	Educational materials (Stationaries/books etc.,)	1,000,000.00	1,000,000.00	2,000,000.00
Total		4,000,000.00	4,000,000.00	8,000,000.00
	USD Amount	2,500.00	2,500.00	5,000.00

2022年（1-12月）に寄付してくださったのは以下の方々でした（敬称略）

安立健明,穴澤龍治,伊井和枝,池田博行,池田隆二郎,池見清志,伊佐治寿彦,伊地知正光,伊東祐久,井上功,岩元修士,内田正隆,宇野哲人,海川敏雄,梅北正史,浦田真吾,江口憲治,江畑浩之,大川伸一,大坂恒悦,大迫徳郎,大原信司,岡田利雄,小田敏史,小田原良治,海江田博士,笠松秀樹,加藤英行,金蔵拓郎,金丸秀樹,金子賢一,賀本敏行,川井田浩,川上博人,川原光徳,神原芳彦,菊地裕太郎,北川朗,北本達也,木下敏之,工藤忠宏,工藤元哉,隈部敏郎,倉津一壽,倉橋基夫,黒川明,黒木秀敏,桑原新一,高栢智彰,古賀信行,小城和正,小林寛重,財津昭憲,齊野公志,酒井伸一郎,坂井毅,櫻井利雄,匿名希望,佐藤正吉,佐藤仁宣,佐藤秀樹,鮫島由規則,椎原晚聲,重信和男,品田義雄,白土宏之,菅野剛造,鈴木正英,園田勝男,大尾敏博,大徳眞一,高木鉄平,高木学,高橋智,田上桂作,竹田和義,武田敏文,匿名希望,田中俊博,田中宏明,谷山啓一,田原浩,玉木康博,津田俊二,出口亨,寺田道雄,鳥越重二,中井洋,中江次郎,中川原讓,中越讓,永田洋二,中西徹明,中西輝昭,中野伸也,中原善朗,中村勝洋,中村誠洋,中村知史,中村稔,成田昭浩,西立野研二,新田栄作,新田周作,新田莊作,根本浩一郎,蜂須賀一寿,馬場俊英,浜崎和朗,林完自,原口和貴,針間博彦,春本常雄,姫野信吉,平川憲生,平澤博之,深江方次,福岡一郎,藤瀬裕司,藤津史朗,古川貴久,堀切尚,牧本三夫,松井謙明,松岡英亮,松崎潤一,松下洋一郎,松島誠也,松田孝,松原俊生,三浦聡雄,水間信寿,道岡伸一郎,満岡渉,宮下幸一朗,村上洋一郎,村野一郎,元木昭秀,本寺大志,本山嘉正,森莊太郎,森俊雅,矢野讓,山内耕治,山下達治,山村延郎,山元正博,吉井満寛,吉田昌之,吉永和久,米澤大,和田豊郁, (株)丸光工業,匿名希望 (以上 154名)



ローマ SECOLI 本部からのクリスマスカード

- 編集後記 -

- ・ 令和5年が始まりましたが、コロナウィルスのニュースは昨年と変わらず続いています。今年のはのんびり暮らしたいものです。
- ・ SCOLA では世田谷区にある SCOLA 事務局の移転を検討しています。都内で事務所として使用可能な場所をご存知の方は、事務局までご連絡くださいますようお願い致します。また、掲載して欲しい記事など、ご意見がございましたらご連絡ください。

(理事 紺野晃則) e-mail:scola_japan@yahoo.co.jp